

茂原市自治基本条例を考える市民の会 第18回会議 概要

開催日時	平成24年10月30日(火) 18時～
開催場所	茂原市役所502会議室
出席者	実行委員会委員30名(うち6名所用のため欠席) 事務局(花沢企画政策課主幹、深山企画政策課係長、風戸企画政策課主査)
会議次第	1.開会 2.あいさつ 3.議題 (1) 条例づくり分科会について (2) その他 4.閉会
会議要旨	2.議題 (1) 条例づくり分科会について 【リーダー会議の結果報告】 ・自治基本条例だより No.5 について。「おじゃまします」のコーナーで第2回としてナルク茂原を取り上げたい。次回11月10日(土)9時から広報委員会。当日、榎町でナルクの手がける子どもあそび広場が10時から開催されており、会議終了後、子どもあそび広場の視察に出かけたい。後日、日にちを改めてナルク役員と市民の会員の対話の機会を設けたい。 ・今後の進め方について。今回を含めて年内はあと4回。おおむね年内いっぱいを目途に提言書のたたき台をつくり、全体会でまとめた。A・B・C分科会がそれぞれのスタイルで進めているので、一度全体をまとめた上でトーンの統一を図りたい。 ・11月4日と11日に市長と話し合う会が開催される。ご都合の付く方はご参加をお願いしたい。 ・12月4日に自治会長連合会主催の講演会が行われる。市民の会委員も同席して聴講させていただけることになった。講師は関幸子さん(ローカルファースト研究所所長、内閣府地域活性化伝道師) 【分科会ごとのグループワーク振り返り】 ○A分科会(議会) 提言の素案について、たたき台をベースに意見を出してもらった。 焦点となったのは、議会が行政のチェック機能を果たしているかどうか。こうあってほしいという希望も盛り込む。 議員の責務としては、住民の代表者としての活動をしているか。自分の活動を説明し、住民の意見を吸い上げているか。住民の議会・議員への関心度をどのようにしたらよいか。

住民の責務として、住民の議会に対する関心をどうしたら高めることができるか。方策を提言に入れられないか。次回も引き続き検討したい。

#### ○B 分科会（行政）

8名が参加。前々回、前回と行政の悪いところ、そうであってほしいところを比較して提言書にぶつけていくという作業を続けてきた。

今回判明したのは、市はほめてあげたいところがいくつもあるということ。職員の発想一つにしても、大胆なこともしている。市長が組織をどれくらい使いこなしているかが問われる。

どの話にも共通したのは、情報が広く市民に伝わっているか。市民参加が一部にとどまっていないか。底上げが必要。

次回は田村氏が提言書の素案を作成し、それにこれまで話し合った内容をぶつけて反映させていきたい。

#### ○C 分科会（地域自治・市民）

まちづくり、地域コミュニティ支援について前回に引き続いて話し合った。

地域におけるまちづくりについて、地域づくり協議会をどういう制度にするか。その前提として、現在地域にどのような協議会があるのか。地区社会福祉協議会が地域福祉フォーラムを開催して、自治会などを巻き込んでいろなどところでまちづくりに取り組んでいる。それをどう繋げていくかが大変難しい。次回、最終的な結論を導き出したい。